

○計画期間：平成30年7月～令和6年3月（5年9月）

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 令和2年度終了時点（令和3年3月31日時点）の中心市街地の概況

平成30年7月より、認定基本計画に基づき、基本理念「人をつなぐ、地域をつなぐ、未来につなぐ中心市街地」のもとで各事業を実施していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの事業をやむを得ず中断又は延期した。感染症の状況を見ながら事業の早期再開を目指しているが、影響が長期に及ぶ可能性も高く、一部の事業について今後計画変更を検討する。

観光地として人気が高い馬籠宿や城山城跡も、新型コロナウイルス感染症の影響により観光客が、とりわけ外国人観光客が激減し、現在も回復には至っていない。また、六斎市などの商店街活性化イベントも軒並み中止となったことや、県からの営業時間短縮要請等もあり、長期間休業する事業者も見受けられるようになった。

一方で、空き店舗や空き家、空き地を活用して新規に事業をしようとする動きが令和2年10月頃から見られるようになり、新型コロナウイルス感染症の収束とともにこれらがにぎわい回復の礎となることを期待している。

また、（仮称）市民交流プラザ建設に関しては、これまでのところ計画通り順調であり、令和3年10月より着工できる見込みとなった。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

（基準日：毎年度4月1日）

(1) 居住人口

（単位：人）

（中心市街地 区域）	平成29年度 （計画前年度）	平成30年度 （1年目）	令和元年度 （2年目）	令和2年度 （3年目）	令和3年度 （4年目）	令和4年度 （5年目）
人口	2,826	2,769	2,714	2,684		
人口増減数	▲66	▲57	▲55	▲30		
自然増減数	▲29	▲31	▲35	▲43		
社会増減数	▲21	▲9	▲16	9		
転入者数	55	56	72	64		

（資料：中津川市住民基本台帳情報）

※社会増減数には職権で住民登録が抹消された数は含まれていない。そのため、自然増減数と社会増減数の合計は人口増減数と一致しない。

(2) 事業者数

(単位：件)

	平成28年度 (計画前年度)					
市全体	4,047					
中心市街地	532					

(資料：経済センサス活動調査)

(3) 地価(単位：円/m²)

	平成29年度 (計画前年度)	平成30年度 (1年目)	令和元年度 (2年目)	令和2年度 (3年目)	令和3年度 (4年目)	令和4年度 (5年目)
中津川市平均 (商業地)	62,300	62,250	62,250	62,200		
太田町2丁目 (商業地)	70,200	70,200	70,200	70,200		
昭和町 (住宅地)	37,800	37,800	37,800	38,000		

(資料：岐阜県地価調査)

2. 令和2年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

新型コロナウイルス感染症の影響によるイベント中止、都市福祉施設の閉鎖、飲食店への営業時間短縮要請、観光客の減少などにより、多くの事業について中断や延期をせざるを得なくなった結果、遅れが生じていることは止むを得ないと判断している。

影響がさらに長期に及ぶことも懸念されるが、状況を注視しつつ、中断している各事業をできる限り早く再開し、目標達成を目指していただきたい。できることは今から準備を行い、コロナ禍収束後に出遅れることがないように事業を進めること。また、進捗管理をしっかりと行い、理由にかかわらず遂行が困難となった事業は、廃止を含めた見直しを早めに行うよう心がけていただきたい。

このような厳しい状況の中で、中心市街地のにぎわい回復の核となる「(仮称) 市民交流プラザ建設事業」は、これまで計画どおり進んでいることは評価する。引き続き、着実に事業を遂行していただきたい。

困難に打ち勝ち、中心市街地ににぎわいが戻ることを期待している。

II. 目標ごとのフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善状況	前回の見通し	今回の見通し
商業の活性化による吸引力の強化	新規出店数	31 店舗	50 店舗	38 店舗	B	2	2
観光客を惹きつける資源活用の強化	特定施設等観光客入込数	123,000 人/年 (H28)	149,200 人/年 (R5)	20,749 人/年 (R2)	C	①	①
市民の居場所や活動の場所としての魅力の強化	都市福利施設利用者数	322,566 人/年 (H28)	430,000 人/年 (R5)	141,351 人/年 (R2)	C	②	②
	歩行者通行量	4,525 人/日 (H29)	5,062 人/日 (R5)	5,251 人/日 (R2)	A	①	①

<基準値からの改善状況>

A：目標達成、B：基準値より改善、C：基準値に及ばない

<取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類>

①目標達成が見込まれる。

②目標達成が見込まれない。

関連する事業等の進捗状況が順調でない場合は、それぞれ1、2とする。

2. 目標達成見通しの理由

(1) 「新規出店数」について

主に空き店舗対策事業及び空き店舗活用支援事業により出店者を支援している。新規出店しようとする動きがみられ、新型コロナウイルス感染症の影響下にも関わらず4件の出店があった。しかし、依然として先行きは不透明のままであり、目標達成の目途は立っていない。

(2) 「特定施設等観光客入込数」について

新型コロナウイルス緊急事態宣言の発令等があり、施設の閉鎖・閉館やイベントが軒並み中止となったため大幅に減少しているが、新型コロナウイルス感染症が収束しイベント等を再開できれば、令和元年度と同程度の数が見込めるため、目標達成可能と判断している。

(3) 「都市福利施設利用者数」について

新型コロナウイルス感染症の影響により、施設の一時開放閉鎖・開放時間短縮等があり、どの施設も利用者数が大幅に減少となった。感染症が収束すれば利用者数は従前と同程度まで回復する見込みである。しかし、令和元年度の増加数は目標を下回っており、目標達成は非常に厳しい状況である。

(4) 「歩行者通行量」について

調査実施時期がちょうど緊急事態宣言等が一時的に解除されていたこともあり微増した。状況により、今後も大幅に前後することが予想されるが、新型コロナウイルス感染症が収束すれば同程度の通行量が維持できると判断している。

3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

(1) 「新規出店数」について

前回から変更はない。

(2) 「特定施設等観光客入込数」について

前回から変更はない。

(3) 「都市福利施設利用者数」について

前回から変更はない。

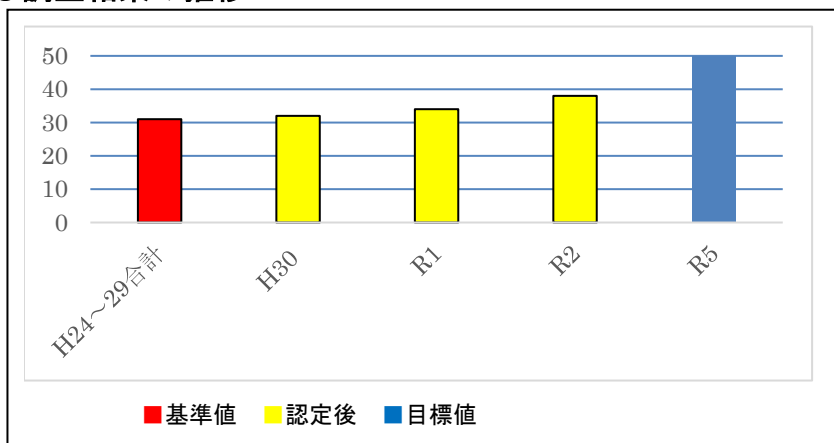
(4) 「歩行者通行量」について

前回から変更はない。

4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

「新規出店数」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 6 7 参照

●調査結果の推移



年	(店舗)
H24~29合計	31
H30	32
R1	34
R2	38
基準値	50
+H30~R5合計	(目標値)

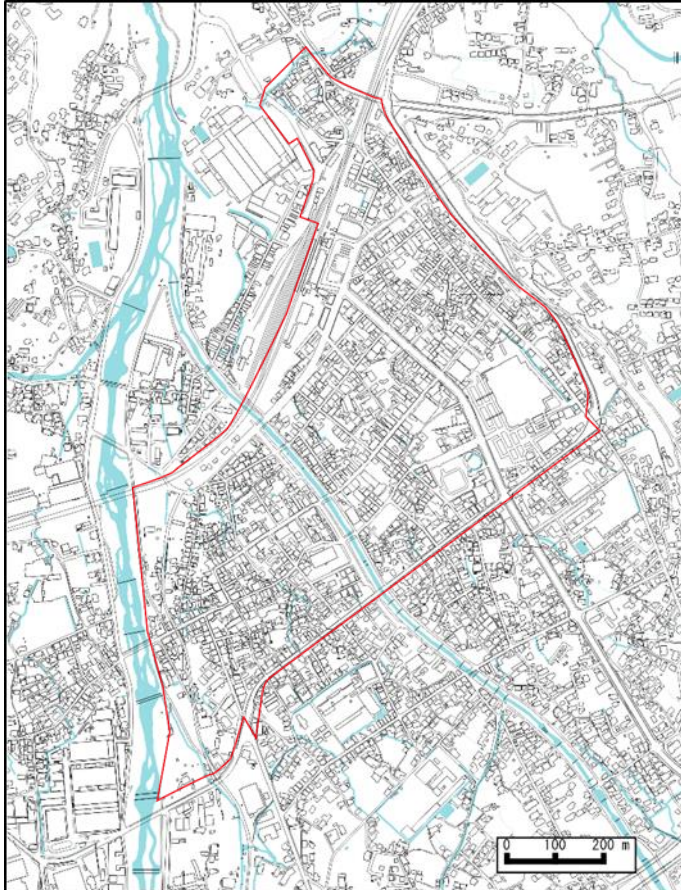
※調査方法：市及び商工会議所が関わった支援の結果、出店に結びついた者の集計

※調査月：毎年3月末

※調査主体：中津川市、中津川商工会議所

※調査対象：中心市街地での出店者

●調査地点図 (中心市街地全域が対象)



(単位：件)

	平成 29 年度 (計画前年度)	平成 30 年度 (1 年目)	令和元年度 (2 年目)	令和 2 年度 (3 年目)	令和 3 年度 (4 年目)	令和 4 年度 (5 年目)
空き店舗活用	3	0	0	0		
空き店舗活用支援	3	1	2	4		
歴史的資産を活用 した町家再生	0	0	0	0		
トライアルショップ	0	0	0	0		
合計	6	1	2	4		

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 空き店舗対策事業 (まちづくり会社・民間団体)

事業実施期間	平成 30 年度～令和 5 年度【実施中】
事業概要	中心市街地に存在する空き店舗や所有者の調査を行いながら、所有者と出店希望者を結び付ける。
国の支援措置名 及び支援期間	国の支援措置なし

事業効果及び進捗状況	令和元年度に実施した空き家等現況調査を基に作成した地図を活用し、出店希望者のニーズに合わせた情報提供ができるようになった。また、まちづくり会社主催で、空き店舗を活用した事業展開予定者を集め、空き店舗を実際に見てもらう「空き店舗ツアー」を11月に実施。8名が参加したが開業までには至らなかった。
事業の今後について	空き店舗等の地図情報の活用とコロナウイルスの状況もあるが、引き続き「空き店舗ツアー」を実施し、出店希望者と空き店舗等所有者を結びつけ、新規出店を促進させる。

②. 空き店舗活用支援事業（中津川市）

事業実施期間	平成29年度～令和5年度【実施中】
事業概要	空き店舗を活用して出店する場合に、改修費用の1/2を上限として最大50万円を補助する。
国の支援措置名及び支援期間	地方創生推進交付金（内閣府）（令和2年度～令和4年度）
事業効果及び進捗状況	個人事業主の出店時の負担軽減につながるため、市全体で見ると当該事業の利用者は一定数あるが、中心市街地地域では家賃や駐車場確保の面での折り合いがつかず出店に結びつかないことがある。空き店舗活用支援事業を利用した出店は4件あった。
事業の今後について	中心市街地地域外との兼ね合いもあるが、補助制度の見直しを含めて、より中心市街地で創業推進できる方法を探り、出店者を増やす。

③. 歴史的資産を活用した町家再生事業（まちづくり会社・中津川市・商工会議所・商店街ほか）

事業実施期間	平成30年度～令和5年度【実施中】
事業概要	官民が連携して中津川宿に現存する歴史的建築物を改修し、ゲストハウスや飲食店などとして活用することで、滞在、滞留する観光客数の増加を図る。
国の支援措置名及び支援期間	地域・まちなか商業活性化支援事業費補助金（中心市街地再興戦略事業）のうち調査事業（経済産業省）（平成30年度）
事業効果及び進捗状況	中山道を中心とした中心市街地内の町家に関して、令和元年度に地域住民並びに市内宿泊施設利用者（日本人・外国人両方）を対象に、ニーズ調査、マーケティング調査としてアンケートを実施。結果、

	カフェのニーズが高いことがわかった。 新型コロナウイルスの影響により、令和2年度は事業を中断した。
事業の今後について	感染症の状況を見ながら早期に事業再開し、ニーズ、マーケティング調査結果を基に、建物所有者との折衝、入居者の募集など、改修に向けて準備を進めていく。

④. トライアルショップ事業（まちづくり会社）

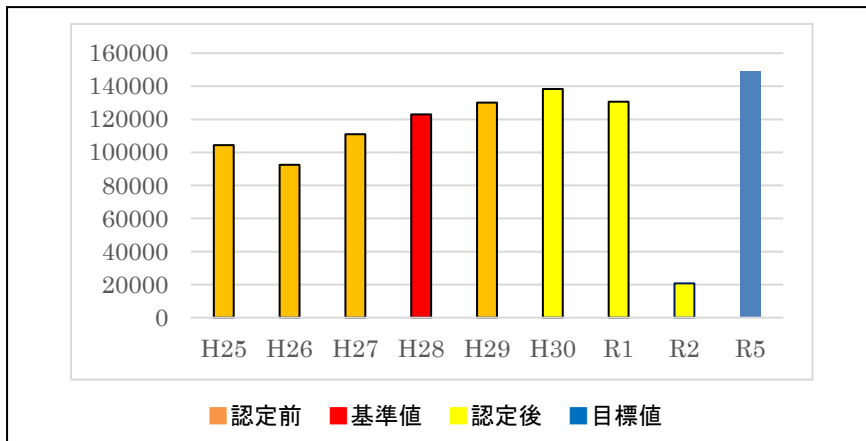
事業実施期間	令和元年度～令和5年度【実施中】
事業概要	まちづくり会社が休業日の店舗等を借り受けてトライアルショップとして活用することで、新たな出店希望者の掘り起こしと新規出店に繋げる。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	令和元年度に交渉していた物件には、まちづくり会社の事務所移転を現在考えており、移転後に現在の事務所を改修して出店できる方法を検討中。
事業の今後について	新型コロナウイルス感染症の状況を見ながらになるが、まちづくり会社の現事務所の活用方法を確定させるとともに、トライアルショップ出店希望者を掘り起こす。

●目標達成の見通し及び今後の対策

これまでのところ、空き店舗を活用した新規出店は累計7件であり、進捗が遅れている。創業を支援する新たな補助制度を令和2年度から開始したこともあり、令和2年秋ころから新規創業に関する相談が増える傾向が見られる。しかし、依然として目標達成は極めて厳しい状況となっているため、空き店舗調査結果と創業支援制度を積極活用し、目標達成を目指す。

「特定施設等観光客入込数」 ※目標設定の考え方認定基本計画 P. 68～P. 69 参照

●調査結果の推移



年	(人/年)
H25	104,400
H26	92,500
H27	111,000
H28	123,000 (基準値)
H29	130,130
H30	138,378
R1	130,677
R2	20,749
R5	149,200 (目標値)

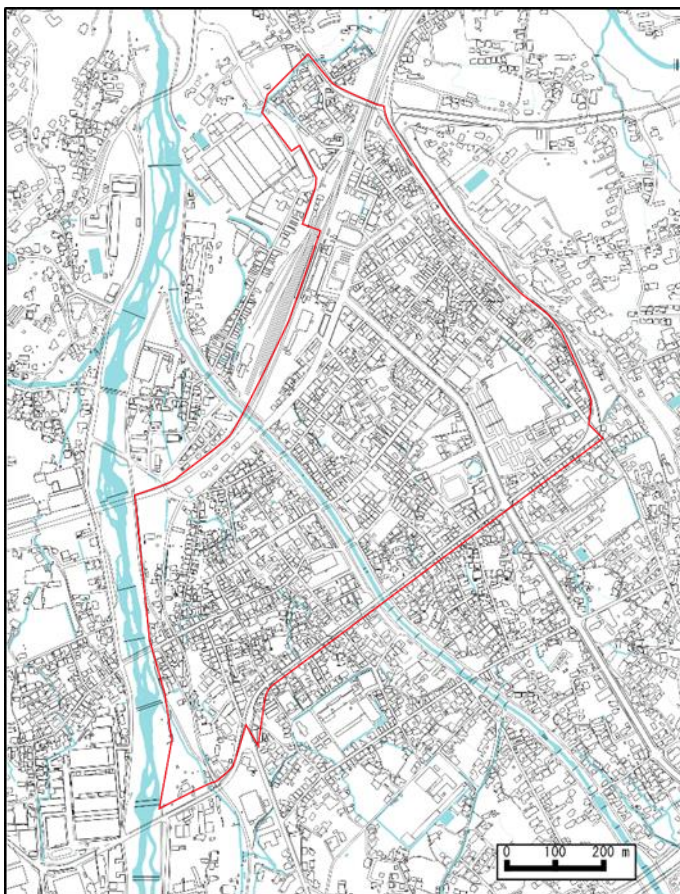
※調査方法：対象イベント及び施設への年間来場者数の合計

※調査月：毎月1回

※調査主体：中津川市

※調査対象：「春・秋の中山道まつり」、「中山道中津川宿六斎市事業」、「中山道歴史資料館」、「まちなか歴史発見散歩事業」、「地域文化資源を活用した体験型観光推進事業」、「間家大正の蔵活用公開事業」、「歴史的資産を活用した町家再生事業」

●調査地点図…（中心市街地の全域が対象）



(単位：人)

	平成 29 年度 (計画前年度)	平成 30 年度 (1 年目)	令和元年度 (2 年目)	令和 2 年度 (3 年目)	令和 3 年度 (4 年目)	令和 4 年度 (5 年目)
春・秋の中山道まつり	40,000	42,000	47,000	8,000		
中山道中津川六斎市	61,000	59,000	45,500	5,000		
中山道歴史史料館	29,130	35,862	36,217	7,198		
まちなか歴史発見散歩事業		95	52	0		
地域文化資源を活用した体験型観光事業		0	0	0		
間家大正の蔵公開事業		1,421	1,908	551		
歴史的資産を活用した町家再生		0	0	0		
合計	130,130	138,378	130,677	20,749		

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 春・秋の中山道まつり（六斎市実行委員会・中津川商店街連盟）

事業実施期間	平成 20 年度～令和 5 年度【実施中】
事業概要	中津川市内の中山道で行う、商店街が中心となった祭り。商店街が趣向を凝らしたイベントを実施し、集客を目指す。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	中山道中津川宿としての知名度向上に寄与しており、毎月の六斎市と同時開催することで、集客力を高めている。令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、春は中止、秋も縮小開催となったため、来場者数は 8,000 人とどまった。
事業の今後について	新型コロナウイルス感染症の状況を見ながらになるが、できる限り開催を目指し、引き続き、魅力的なイベントを企画、広報し、市外からの観光客を取り込むことでにぎわいを増加させる、

②. 中山道中津川宿六斎市事業（六斎市実行委員会・中津川商店街連盟）

事業実施期間	平成20年度～令和5年度【実施中】
事業概要	江戸時代に中津川宿で開かれていた六斎市を、月に一回定期的に開催する。各店舗の出店と、毎回異なるイベントの開催により集客を目指す。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	毎回のイベントに工夫を凝らすことで来場者を飽きさせず、リピーターが増えてきている。夜間開催については、日中は仕事等で都合が付き難い方も参加することができ、より多くの方に魅力を感じてもらうことができた。新型コロナウイルスの影響により、令和2年度は開催回数1回、来場者数も累計で5,000人にとどまった。
事業の今後について	新型コロナウイルス感染症の影響で、イベント中止が長期化することが懸念されているが、収束後の回復を目指し、近隣市町村と連携を取りながら事業を推進する。

③. まちなか歴史発見散歩事業（まちづくり会社・中津川市）

事業実施期間	平成30年度～令和5年度【実施中】
事業概要	まちなかの歴史スポットをガイドとともに巡る歴史散策小ツアーを定期開催し、まちなかを回遊する観光客の増加を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	ガイドが魅力的な語り口で案内するため、歴史やまち歩きに興味のある参加者が多く集まる人気の事業。複数ある歴史スポット目指して歩き回ること回遊性を高めることを目的としているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。
事業の今後について	新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、早期に事業を再開し、課題であるガイドの養成を実施する。

④. 地域文化資源を活用した体験型観光推進事業（中津川商店街連盟・まちづくり会社）

事業実施期間	平成30年度～令和5年度【実施中】
事業概要	まちづくり会社と商店街が連携し、インバウンドを対象にした地域の伝統や文化に触れて体験するツアーを実施し、商店街のにぎわいを創出する。

国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は事業を中断した。体験メニューとして提供できるものは何かを洗い出し、方向性を引き続き検討する。
事業の今後について	新型コロナウイルス感染症の状況と、インバウンドの動向を注視しながら、商店街が中心となり、外国人向けの浴衣体験や琴の演奏など、どのようなメニューが最善か検討したうえで実施し、集客を目指す。

⑤. 間家大正の蔵活用公開事業（中津川市）

事業実施期間	令和元年度～令和5年度【実施中】
事業概要	新たな観光スポットとするため、施設を改修、公開する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	新たな観光スポットとして改修・公開することで、来場者数の増加を図る。商業的活用として、令和元年度にカフェを設置した。新型コロナウイルス感染症の影響により一時閉館したこともあり、令和2年度に来場者数は551人で前年度と比べ1,357人減少した。
事業の今後について	新型コロナウイルス感染症の収束とともに、来場者数は回復するものと見込んでいるが、より多くの観光客に利用される機能を検討し、さらなる集客を目指す。

⑥. 歴史的資産を活用した町家再生事業（まちづくり会社・中津川市・商工会議所・商店街ほか）

事業実施期間	平成30年度～令和5年度【実施中】
事業概要	官民が連携して中津川宿に現存する歴史的建築物を改修し、ゲストハウスや飲食店などとして活用することで、滞在、滞留する観光客数の増加を図る。
国の支援措置名及び支援期間	地域・まちなか商業活性化支援事業費補助金(中心市街地再興戦略事業)のうち調査事業(経済産業省)(平成30年度)

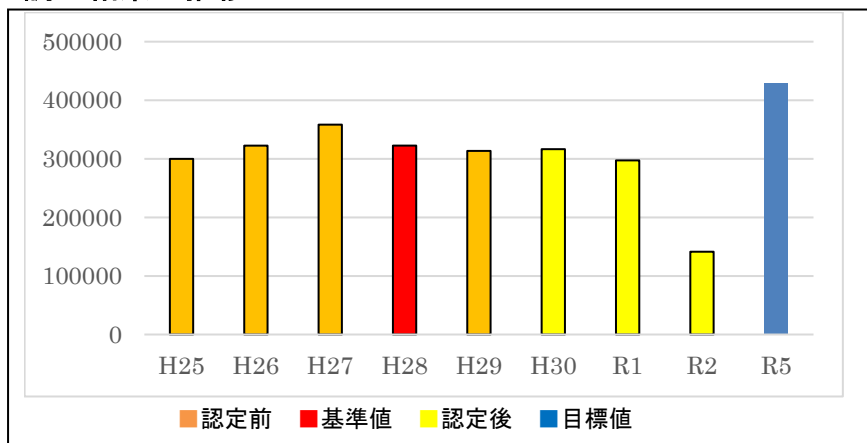
事業効果及び進捗状況	中山道を中心とした中心市街地内の町家に関して、令和元年度に地域住民並びに市内宿泊施設利用者（日本人・外国人両方）を対象に、ニーズ調査、マーケティング調査としてアンケートを実施。結果、カフェのニーズが高いことがわかった。 新型コロナウイルスの影響により、令和2年度は事業を中断した。
事業の今後について	感染症の状況を見ながら早期に事業再開を目指す。ニーズ、マーケティング調査結果を基に、建物所有者との折衝、入居者の募集など、改修に向けて準備を進めていく。

●目標達成の見通し及び今後の対策

新型コロナウイルスの影響により、イベント中止、施設の閉鎖、事業の縮小があり、令和2年度は前年度の数値を大きく下回った。これまでに外国人観光客の増加、中山道まつりや六斎市への来客数の増加等で数値は伸びてきていたので、新型コロナウイルス感染症の収束とともに回復を見込んでいるが、影響が長期となっており、回復の鈍化が懸念される。

「都市福利施設利用者数」 ※目標設定の考え方認定基本計画 P. 70～P. 72 参照

●調査結果の推移



年	(人/年)
H25	299,877
H26	322,501
H27	358,343
H28	322,566 (基準値)
H29	313,494
H30	316,463
R1	297,282
R2	141,351
R5	430,000 (目標値)

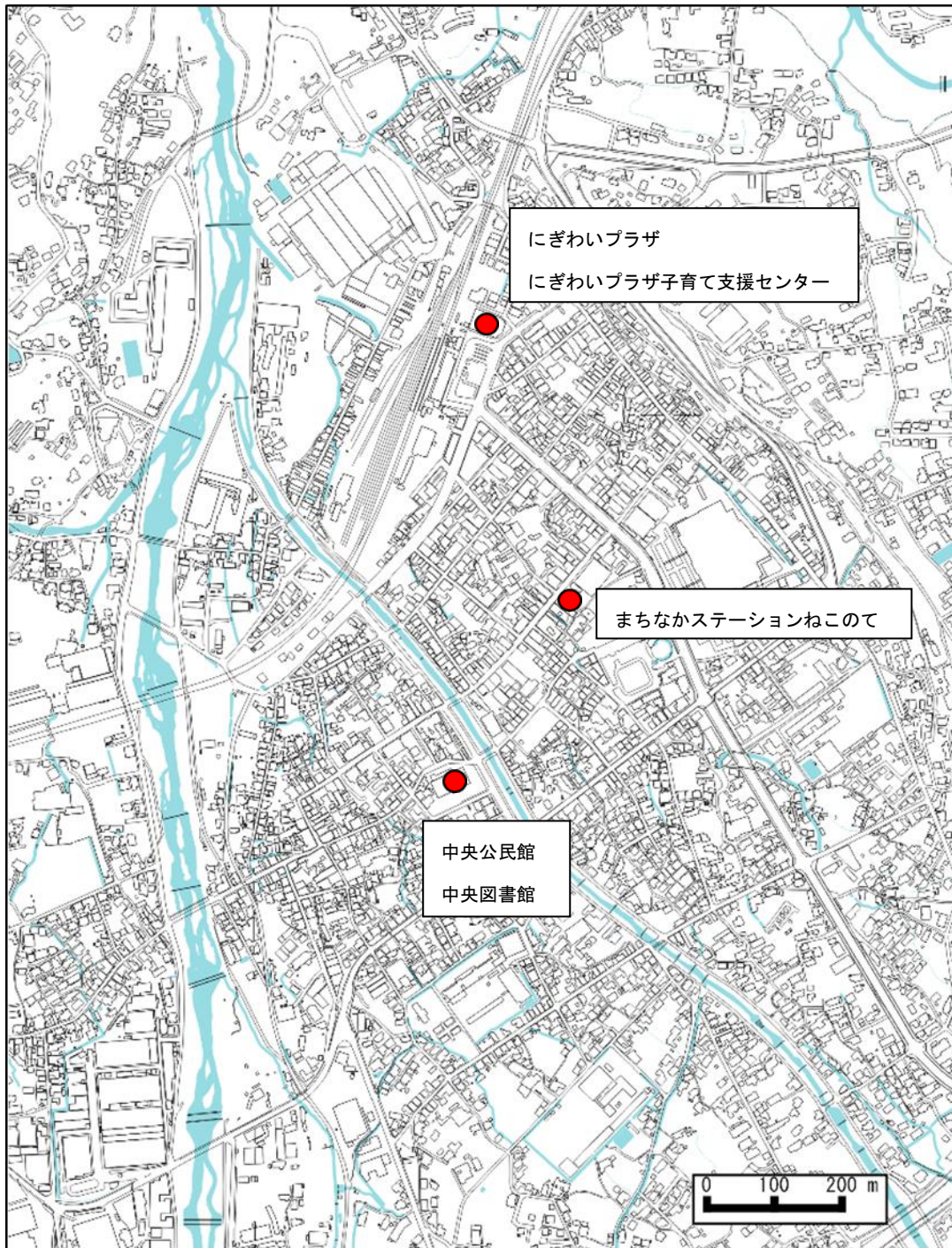
※調査方法：対象施設の年間利用者数を合計

※調査月：毎年3月末

※調査主体：中津川市

※調査対象：「にぎわいプラザ（貸部屋）」、「にぎわいプラザ子育て支援センター」、「中央公民館（貸部屋）」、「中央図書館」「まちなかステーションねこのて」

●調査地点図



(単位：人)

	平成 29 年度 (計画前年度)	平成 30 年度 (1 年目)	令和元年度 (2 年目)	令和 2 年度 (3 年目)	令和 3 年度 (4 年目)	令和 4 年度 (5 年目)
にぎわいプラザ (貸部屋)	55,037	54,313	51,504	7,934		
にぎわいプラザ子 育て支援センター	8,941	8,031	7,764	4,406		

中央公民館 (貸部屋)	82,389	88,715	77,033	36,977		
中央図書館	163,941	162,348	157,756	89,900		
まちなかステーションねこのて	3,186	3,056	3,225	2,134		
合計	313,494	316,463	297,282	141,351		

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 新町ビル跡地開発事業【子育て支援機能】(中津川市)

事業実施期間	令和元年度～令和4年度【実施中】
事業概要	子育て支援、観光案内機能等を持ち合わせた複合的都市福利施設の整備を行い、まちなかのにぎわいを創出する。
国の支援措置名及び支援期間	都市構造再編集中支援事業(国土交通省)(令和3年度～令和4年度)
事業効果及び進捗状況	子、親、祖父母の3世代の交流の場としての機能を備え、多くの市民の快適な居場所となり、街中の賑わいを創出する。年間10,161人の来館者を見込む。令和2年度は基本設計を完了し、実施設計に着手した。
事業の今後について	令和5年度の供用開始に向けて、令和3年度より着工予定。

②. まちなかステーションねこのて事業(中心市街地活性化協議会)

事業実施期間	平成27年度～令和5年度【実施中】
事業概要	親子を対象にした飲食の提供、母親同士のコミュニケーションの場を提供し、子育て支援の拠点となる事業である。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	新たな利用者を増やすため、令和元年度には中山道六斎市の日にも営業するなど見直しを行った。新型コロナウイルスの影響による休業要請等があり、令和2年度の利用者数が2,134人となり、令和元年度の約2/3程度だった。
事業の今後について	令和元年度の時点でほぼ目標数値となっていたため、新型コロナウイルス感染症が収束すれば回復するものと見込んでいるが、今後も引き続き提供するサービスの魅力を高め、利用者数を増やしていく。子育てに関する各種企画等の講座に力を入れ、来場者の増加を

	目指す。
--	------

③. 新町ビル跡地開発事業【貸施設機能】（中津川市）

事業実施期間	令和元年度～令和4年度【実施中】
事業概要	子育て支援、観光案内機能等を持ち合わせた複合的都市福利施設の整備を行い、まちなかのにぎわいを創出する。
国の支援措置名及び支援期間	都市構造再編集中支援事業（国土交通省）（令和3年度～令和4年度）
事業効果及び進捗状況	市民や団体の活動、各種イベントに活用されることで、年間4,320人の利用が見込まれる。市民が交流することで、まちなかの人の流れの増加に効果がある。令和2年度は基本設計を完了し、実施設計に着手した。
事業の今後について	令和5年度の供用開始に向けて、令和3年度より着工予定。

④. にぎわいプラザ利活用促進事業（中津川市）

事業実施期間	平成20年度～令和4年度【実施中】
事業概要	様々な用途でつかえる会議室、個展やイベント等が開催できる展示スペース、オフィススペース等を提供する。市民や団体が利用することで駅前のにぎわいが創出される。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	新型コロナウイルスの影響により、4月～9月まで閉館した。また、10月以降も換気機能がかかなり悪い箇所を引き続き閉館としたこともあり、年間利用者数は7,934人と前年度より43,570人下回った。
事業の今後について	新型コロナウイルス感染症の収束とともに、利用者数は回復すると見込んでいる。引き続き、利用者からの要望にできる限り答えることで利便性・快適性を高め、利用者数の増加を目指す。

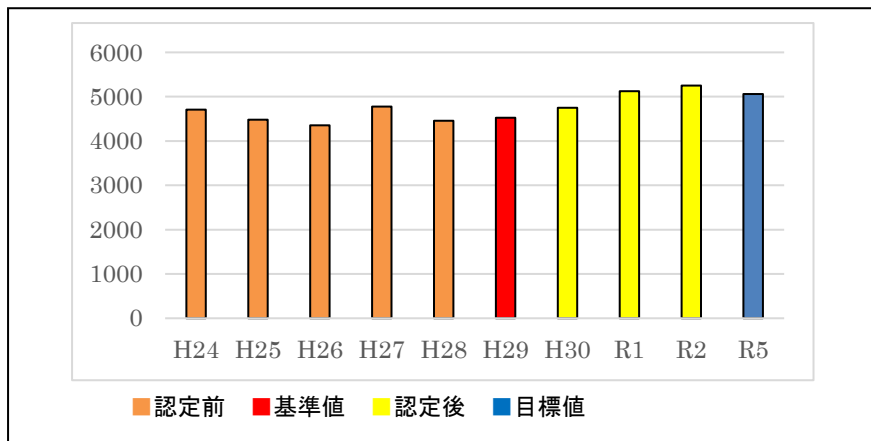
●目標達成の見通し及び今後の対策

新型コロナウイルス感染症の影響により、施設の一時閉鎖や時間短縮が行われたため、利用者数は大幅に減少した。現在も影響下にあり、回復の目途は立っていない。新型コロナウイルス感染症が収束すればある程度の回復を見込んでいるが、どこまで回復する

かは不透明のため今後の動向を注視する。

「歩行者通行量」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 73～P. 74 参照

●調査結果の推移



年	(人/日)
H24	4,708
H25	4,481
H26	4,354
H27	4,777
H28	4,457
H29	4,525 (基準値)
H30	4,750
R1	5,124
R2	5,251
R5	5,062 (目標値)

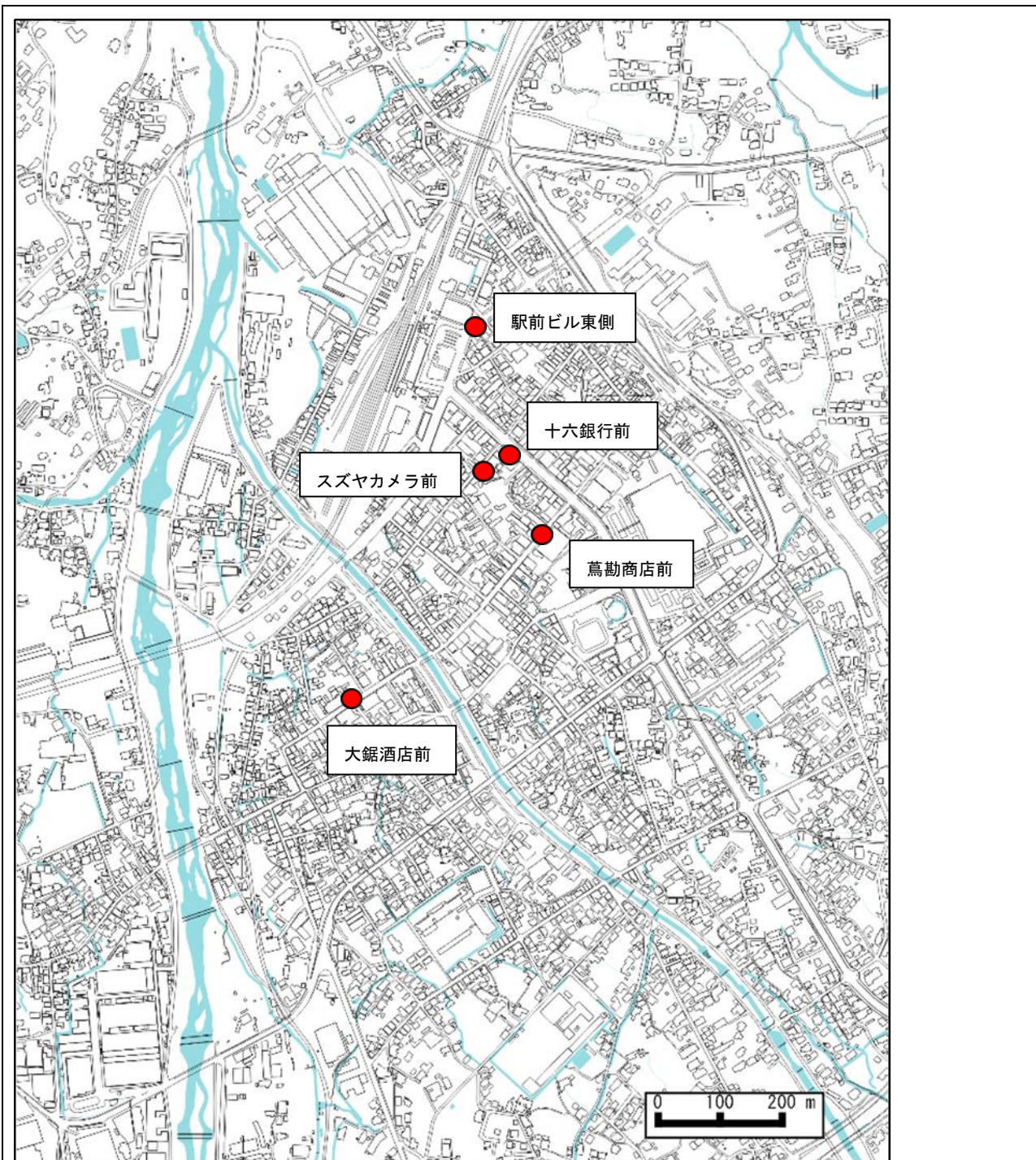
※調査方法： 実質測定値

※調査月： 毎年9月末（平日）

※調査主体： 中津川市

※調査対象： 中心市街地内5ヶ所（蔦勤商店前、スズヤカメラ前、十六銀行前、駅前ビル東側、大鋸酒店前）を通行する歩行者

●調査地点図



(単位：人)

	平成 29 年度 (計画前年度)	平成 30 年度 (1 年目)	令和元年度 (2 年目)	令和 2 年度 (3 年目)	令和 3 年度 (4 年目)	令和 4 年度 (5 年目)
鳶勘商店前	654	555	582	498		
スズヤカメラ前	481	410	412	396		
十六銀行前	1,468	1,608	1,769	1,527		
駅前ビル東側	1,540	1,953	2,052	2,517		
大鋸酒店前	382	224	309	313		
合計	4,525	4,750	5,124	5,251		

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 新町ビル跡地開発事業（中津川市）

事業実施期間	令和元年度～令和4年度【実施中】
事業概要	子育て支援、観光案内機能等を持ち合わせた複合的都市福利施設の整備（仮称・市民交流プラザ）を行い、まちなかのにぎわいを創出する。
国の支援措置名及び支援期間	都市構造再編集中支援事業（国土交通省）（令和3年度～令和4年度）
事業効果及び進捗状況	中心市街地の拠点施設として、年間337,651人の利用を見込む。来館者がまちなかに流れ、歩行者数の増加に貢献する。令和2年度は施設の基本設計を完成させ、実施設計に着手した。
事業の今後について	令和5年度の供用開始に向けて、令和3年度より着工予定。

②. 統一案内サイン整備事業（中津川市）

事業実施期間	平成30年度～令和5年度【実施中】
事業概要	中津川駅前から中山道エリアに至るまでの案内機能を充実させることで、観光客をまちなかへ誘導し回遊性を高める。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	令和2年度は整備を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、インバウンドの動向が変わったため事業を中断した。案内サイン設置により、外国人観光客のまちなかへの回遊が1日15人増加すると見込む。
事業の今後について	新型コロナウイルスの影響により、インバウンドの動向を注視しながら事業を再開し、整備を進める。

③. 旧中津川幼稚園跡駐車場整備事業（中津川市）

事業実施期間	令和3年度～令和4年度【未】
事業概要	新町ビル跡地開発事業に合わせて駐車場を整備する。

国の支援措置名及び支援期間	都市構造再編集中支援事業（令和3年度～令和4年度）
事業効果及び進捗状況	新町ビル跡地に建設される施設利用者の利便性を高め、利用者数を増加させるとともに、まちなかへの回遊性を促進させ、1日あたり43人の歩行者数の増加に貢献する。
事業の今後について	新町ビル跡地開発事業に合わせて事業を実施する。

④. にぎわい広場駐車場整備事業（中津川市）

事業実施期間	令和3年度～令和4年度【未】
事業概要	新町ビル跡地開発事業に合わせて駐車場を整備する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	新町ビル跡地に建設される施設利用者の利便性を高め、利用者数を増加させるとともに、まちなかへの回遊性を促進させ、1日あたり43人の歩行者数の増加に貢献する。
事業の今後について	新町ビル跡地開発事業に合わせて事業を実施する。

⑤. 空き店舗対策事業（まちづくり会社・民間団体）

事業実施期間	平成30年度～令和5年度【実施中】
事業概要	中心市街地に存在する空き店舗や所有者の調査を行いながら、所有者と出店希望者を結び付ける。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	令和元年度に実施した空き家等現況調査を基に作成した地図を活用し、出店希望者のニーズに合わせた情報提供ができるようになった。また、まちづくり会社主催で、空き店舗を活用した事業展開予定者を集め、空き店舗を実際に見てもらう「空き店舗ツアー」を11月に実施。8名が参加したが開業までには至らなかった。
事業の今後について	空き店舗等の地図情報の活用とコロナウイルスの状況もあるが、引き続き「空き店舗ツアー」を実施し、出店希望者と空き店舗等所有

	者を結びつけ、新規出店を促進させ、歩行者通行量を増加させる。
--	--------------------------------

⑥. 歴史的資産を活用した町家再生事業（まちづくり会社・中津川市・商工会議所・商店街ほか）

事業実施期間	平成30年度～令和5年度【実施中】
事業概要	官民が連携して中津川宿に現存する歴史的建築物を改修し、ゲストハウスや飲食店などとして活用することで、滞在、滞留する観光客数の増加を図る。
国の支援措置名及び支援期間	①地域・まちなか商業活性化支援事業費補助金（中心市街地再興戦略事業）のうち調査事業（経済産業省）（平成30年度）
事業効果及び進捗状況	昨中山道を中心とした中心市街地内の町家に関して、令和元年度に地域住民並びに市内宿泊施設利用者（日本人・外国人両方）を対象に、ニーズ調査、マーケティング調査としてアンケートを実施。結果、カフェのニーズが高いことがわかった。 新型コロナウイルスの影響により、令和2年度は事業を中断した。
事業の今後について	新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら早期に事業を再開し、候補施設所有者との交渉を行う。今後その町家を改修することで、集客数・回遊の増加が見込まれ、歩行者通行量の増加を目指す。

⑦. トライアルショップ事業（まちづくり会社）

事業実施期間	令和元年度～令和5年度【実施中】
事業概要	まちづくり会社が休業日の店舗等を借り受け、トライアルショップとして活用することで、新たな出店希望者の掘り起こしと新規出店に繋げる。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	令和元年度に交渉していた物件には、まちづくり会社の事務所移転を現在考えており、移転後に現在の事務所を改修して出店できる方法を検討中。
事業の今後について	新型コロナウイルス感染症の状況を見ながらになるが、まちづくり会社の現事務所の活用方法を確定させるとともに、トライアルショップ出店希望者を掘り起こす。

⑧. まちなか通行手形事業（まちづくり会社）

事業実施期間	令和元年度～令和5年度【実施中】
事業概要	商店街での商品購入の際に、ポイントの付与や優遇特典等を手形として発行する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	実施方法に関する情報の収集と検討に着手していたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中断した。
事業の今後について	新型コロナウイルス感染症の状況のほか、インバウンドの動向にも注視しながら検討を再開する。実施方法が決まり次第、協力店舗を募集して事業を実施する。商店街への来場者が増え、歩行者通行量の増加が見込まれる。

⑨. まちなか美術館事業（中津川市）

事業実施期間	平成30年度～令和5年度【実施中】
事業概要	中心市街地の商店や公共施設等に市や団体、個人が所有する絵画を展示することで、有名な画家を多く輩出した文化のまちのイメージを高める。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年度は中止した。
事業の今後について	新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、早期の再開を目指す。展示場所として、商店街内で設置できる場所を今後は検討する。美術に関心のある者が訪れて回遊性が上がり、歩行者数の増加が見込まれる。

⑩. 間家大正の蔵活用公開事業（中津川市）

事業実施期間	令和元年度～令和5年度【実施中】
事業概要	新たな観光スポットとするため、施設を改修、公開する。

国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	大正時代の建築物を展示会や飲食等ができる観光スポットとして整備し、観光客入込数の増加に寄与する。令和元年度はカフェを設置した。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で閉館や時間短縮があり、令和元年度の来訪者のおよそ1/4にあたる551人とどまった。
事業の今後について	観光資源としてより多くの観光客に利用される機能を検討する。より魅力的な施設にすることで集客数が上がり、歩行者数の増加が見込まれる。

⑪. まちなかステーションねこのて事業（中心市街地活性化協議会）

事業実施期間	平成27年度～令和5年度【実施中】
事業概要	親子を対象にした飲食の提供、母親同士のコミュニケーションの場を提供し、子育て支援の拠点となる事業である。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	新たな利用者を増やすため、令和元年度には中山道六斎市の日にも営業するなど見直しを行った。新型コロナウイルスの影響による休業要請等があり、令和2年度の利用者数が2,134人となり、令和元年度の約2/3程度だった。
事業の今後について	令和元年度の時点ではほぼ目標数値となっていたため、新型コロナウイルス感染症が収束すれば回復するものと見込んでいるが、今後も引き続き提供するサービスの魅力を高め、利用者数を増やしていく。子育てに関する各種企画等の講座に力を入れ、来場者の増加を目指す。

●目標達成の見通し及び今後の対策

新型コロナウイルスの影響により観光客が激減し、観光客を中心市街地へ回遊させる事業を軒並み中断又は延期した。今後の状況を見ながらできるだけ早く再開し、目標達成を目指す。新町ビル跡地開発事業は順調に進んでおり、予定通り完成すれば、コロナウイルスの影響に関わらず目標達成できると見込んでいる。